

My Hobby My Sports!!

趣味を通じた生きがいづくり

——恩田さんは松江市役所の書道サークル「硯清会」の会員とのことですが、入会はいつですか。

平成8年です。その頃、松江市役所には書道サークルが2つあり、私は新規採用で入庁した平成6年に、もう1つの書道サークルに入りました。その後、その書道サークルで指導して下さっていた先生が高齢となり、解散されることになったため、硯清会に入りました。書道を選んだ理由は特にありません。入庁当時は同期の友人と、いろんなことを気軽に始めていました。その1つが書道サークルだったという程度です。

——硯清会は、どのようなサークルなのですか。

松江市役所で60年続いている伝統ある書道サークルです。公務員にまだ時間や気持ちの余裕があった時代には、週1回の練習や年1回の合宿にも熱心に参加する会員が多かったそうです。

しかし、現在では練習に出られる会員が少なくなり、解散か活動の見直しかを迫られる危機に陥りました。検討の結果、存続できることにはなったものの、細々と維持しているのが現状です。練習日は月2回で、17時30分～19時となっています。会員は16名いますが、練習に参加できる会員となると少ないため、私はなるべく時間をつくって参加するようにしています。

——硯清会以外で、書道に関する活動はされていますか。

私は硯清会以外の2つの書道の会に入っています。1つは、硯清会会員がボランティアで主宰している、小中学生から大人までを対象とした書道教室です。もう1つは、書道の展覧会に出品する作品を書くことを目的とした書道の会です。この会では、市や県の展覧会のほか、全国規模の展覧会に出品する作品を



月2回の練習風景

先生の
お手本を
真似して
書くことが
楽しい「書道」

書いています。

——書道の面白さ、魅力は何ですか。

先生が書かれるお手本がかっこいいことが一番の魅力です。自分もそういうかっこいい作品を書きたいと思って頑張っています。先生のお手本を真似して書くことが、楽しいのです。

——書道でこだわっていらっしゃることは？

定期購読しているテキストの競書コーナーに、毎月必ず出品することです。テキストには毎号その月の課題が載っているので、1カ月間練習して、1番良くできたものを出品するようにしています。

——恩田さんが、書道を継続できている要因は何だとお考えですか。

気軽に始めたら、偶然自分に合っていたのがよかったのだと思います。「書道の級や段が上がる」「展覧会に出品する」などの目標があること、指導して下さる先生や一緒にやる仲間たちがいることも継続できている要因です。とは言っても、趣味は無理して続けるものではない気がします。

——書道をされていて、一番よかったことは？

「自分とは違う年代の人たちと共通の趣味で集まれる」ということです。残念ながら、普段書く字に書道の成果は反映されていませんが…。

——書道とは今後どのように関わっていきたいですか。

定年退職後にも楽しめるように、無理せず続けていけたらと思います。



恩田 敏子

松江市財政部資産経営課財産管理係

【おんだ・としこ】平成6年松江市役所入庁。教育委員会、健康福祉部を経て、平成28年より現職。



「硯清会」のメンバーと（後列左から2人目が恩田さん）